



松原メイフラワー病院 院長 松原 司

10月に入り気温も落ち着いてさわやかな季節になりましたが、皆様におかれましてはお健やかに過ごしてでしょうか。毎年10月20日は世界骨粗鬆症デーとなっておりますので、今回は世界におけるカルシウム摂取量について少しお話ししたいと思います。このたび米国で各国のカルシウム摂取量を色分けした世界地図が作成されました。全般的にアジア地域は低摂取量に分類され、日本はその中でも最下位の400mg/日にランク付けされています。ここ数年で日本人の摂取量は増加傾向にはありますが、骨粗鬆症予防

のための推奨量800mg/日に比べるとまだまだ低値です。食習慣の違いにもよりますが、世界には1000mg/日を超える地域もあります。全年代をとおしてみると、20歳前後のカルシウム摂取量が最も少ないため、骨粗鬆症予備軍ともみることができます。日頃からカルシウムとカルシウムの吸収を助けるビタミンDを多く含む食品の大切さを心がけていただけますようお願いいたします。



部門紹介 ~外来看護部、受付医事課

医事課紹介

病院の玄関に入ってすぐ左手にありますのが、私達「医事課」です。どのような部署かと言いますと、受付、会計、電話応対、診断書処理、保険請求等院内での患者様に関する事務をすべて担っています。今年の春より新体制となり新人も多くまだまだ未熟な私達ですが、「受付・会計で患者様を極力お待たせしない」をモットーに頑張っておりますので、今後共宜しくお願い致します。今年の8月に70歳以上の前期・後期高齢者保険の自己負担金の上限が引き上げられました。住民税非課税世帯の場合負担金が減額される可能性があります。また、「限度額適用認定書」の手続きを事前に行っていただければ償還払いの手続きは不要で、外来、入院負担金共に窓口での支払額が軽減されます。詳しくは医事課までお問い合わせ下さい。



外来看護部紹介

私達外来診療スタッフは、患者様とのふれ合いとつながりを大切にしています。現在、看護師6名、クラーク3名、助手2名で外来診療と手術に取り組んでいます。

リウマチ専門病院として多くの患者様の治療に関わっておりますが、その他基礎疾患、一般診療の治療や外来検査にも関わっています。簡単ながん検査など出来ますのでいつでも相談してください。外来診療という限られた時間の中で、不安を持ったままの帰路にならないように少しでも晴れやかな気持ちで『診察に来て良かった』と思っていただけるように心がけています。また、やむを得ず手術が必要となった場合も、手術前の説明に納得できるよう時間をかけ疑問や不安を解消し、手術当日も声をかけて安心して楽に受け取れるように頑張っています。忙しくしていますが、こんな事相談して良いのかと思わずにまず相談して下さい。



手術中



「なにわ探検クルーズ」に乗ってきました！
 故郷のことは意外と知らないことが多いのですが、かく言う自分も大阪出身でありながら大阪の街のことは知らないことだらけです。大阪は水の都であり、街の中に数えきれない程の橋があるために江戸時代には「浪華の八百八橋」と呼ばれたほどでありました。しかしながら、自分が子供時代を過ごした高度経済成長期においては大阪市内の川は汚れが進み、夏の暑い日などは嫌な臭いがする程でした。その後環境対策も進みさらに近年の国を挙げての観光立国政策により、大阪の街もきれいになりつつあります。

奥さんがテレビで紹介されているのを見て「乗ってみたい」とのことなので、「落語家と行く、なにわ探検クルーズ」というものに先日のお休みの日に乗ってきました。大阪は地盤沈下が激しくて橋と川面の間が狭いため特別に作ったクルーズ船で周ります。黄色が目立つ20人くらいが乗れる船でした。道頓堀川の西側に湊町（JR難波近く）の船着場から自分・奥さん・4歳になる次男の三人で乗り込みます。落語家さんが軽快なしゃべくりで案内してくれます。道頓堀川を西に進み、木津川、堂島川、東横堀川からもう一度道頓堀川に入ります。途中、京セラドーム、大阪国際会議場、中央公会堂などの有名な建物が望めます。驚いたことに大阪の川はいつの間にかきれいになっていました。最後は大阪一賑やかな道頓堀川を東から西にゆっくりと進み、グリコの看板も船上から見る事が出来ます。見慣れた光景も船から見上げるとずいぶん違って見えるものです。道頓堀川の左右にはテラス状の遊歩道があり、沢山の観光客が手を振ってくれます。暑さも落ち着き過ぎしやすくなった晴れた日に楽しい思い出が出来ました。大阪には他に「淀川をめぐる三十石船クルーズ」などもあるようです。皆様も機会があれば訪れてみてはいかがでしょうか。

「落語家と行く なにわ探検クルーズ」

HP: <http://www.ipponmatsu.co.jp/cruise/naniwa.html>



外来診療案内

リウマチ科・整形外科・内科・外科・
 リハビリテーション科

診療科目

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~12:00	リウマチ科 整形外科	松原	奥田	松原 (リウマチ) 奥田 (一般整形)	松原 (リウマチ) 奥田 (一般整形)	奥田	
	外科		外科・胃腸科 関野		外科・胃腸科 関野		
	内科	リウマチ科 一般内科	竹迫	伊丹	伊丹	担当医	
午後 15:00 ~18:00	リウマチ科 整形外科	庄	奥田	庄		奥田 整形外科 (人工関節)	
	外科	外科・胃腸科 関野		外科・胃腸科 関野			
	内科	リウマチ科 一般内科	伊丹	竹迫	伊丹	担当医	
午前	検査		内視鏡 関野	内視鏡 関野		内視鏡 関野	

休診日：木曜午後、土曜日、日曜日、祝日

近隣の医療機関の皆様へ

当院での診療を希望される患者さまがいらっしゃいましたら、地域医療連携室へお問い合わせ下さい。

担当：医療ソーシャルワーカー 上月
 (社会福祉士)

編集後記



秋→食欲→さんまの塩焼きの連想しか浮かばない私にとって、近年のさんまの水揚げ量激減は深刻なニュースです。江戸時代には、「秋刀魚（さんま）が出ると按摩（あんま）が引込む」のことわざがあったぐらいで、秋刀魚には栄養が豊富に含まれているので、食べた人々は元気になり、按摩（あんま）に行かなくなるほどだったということです。また、さんまには胃がないため排泄物が残らずわたまで美味しく食べれるそうです。こんなに素晴らしい食材は、いつまでも食卓にのぼってほしいですね。(KK)



2017年10月1日発行 発行元：松原メイフラワー病院

〒673-1462 兵庫県加東市藤田944番地25 TEL：0795-42-8851 (代) FAX：0795-42-8857

E-mail ▶ info@mayflower-hp.jp

HP ▶ <http://www.mayflower-hp.jp/>

